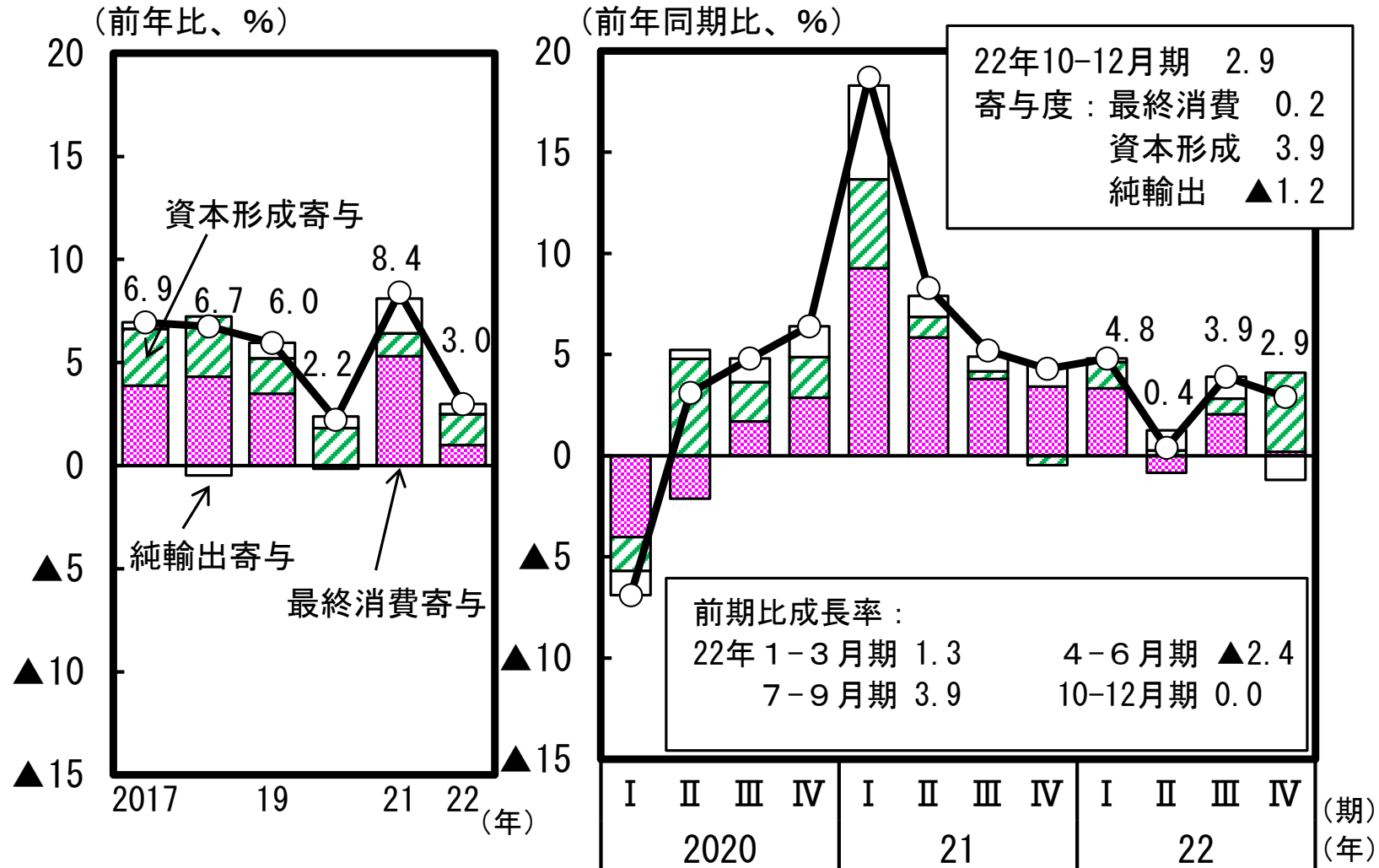


中国経済：景気は感染の再拡大の影響により、このところ弱さがみられる。

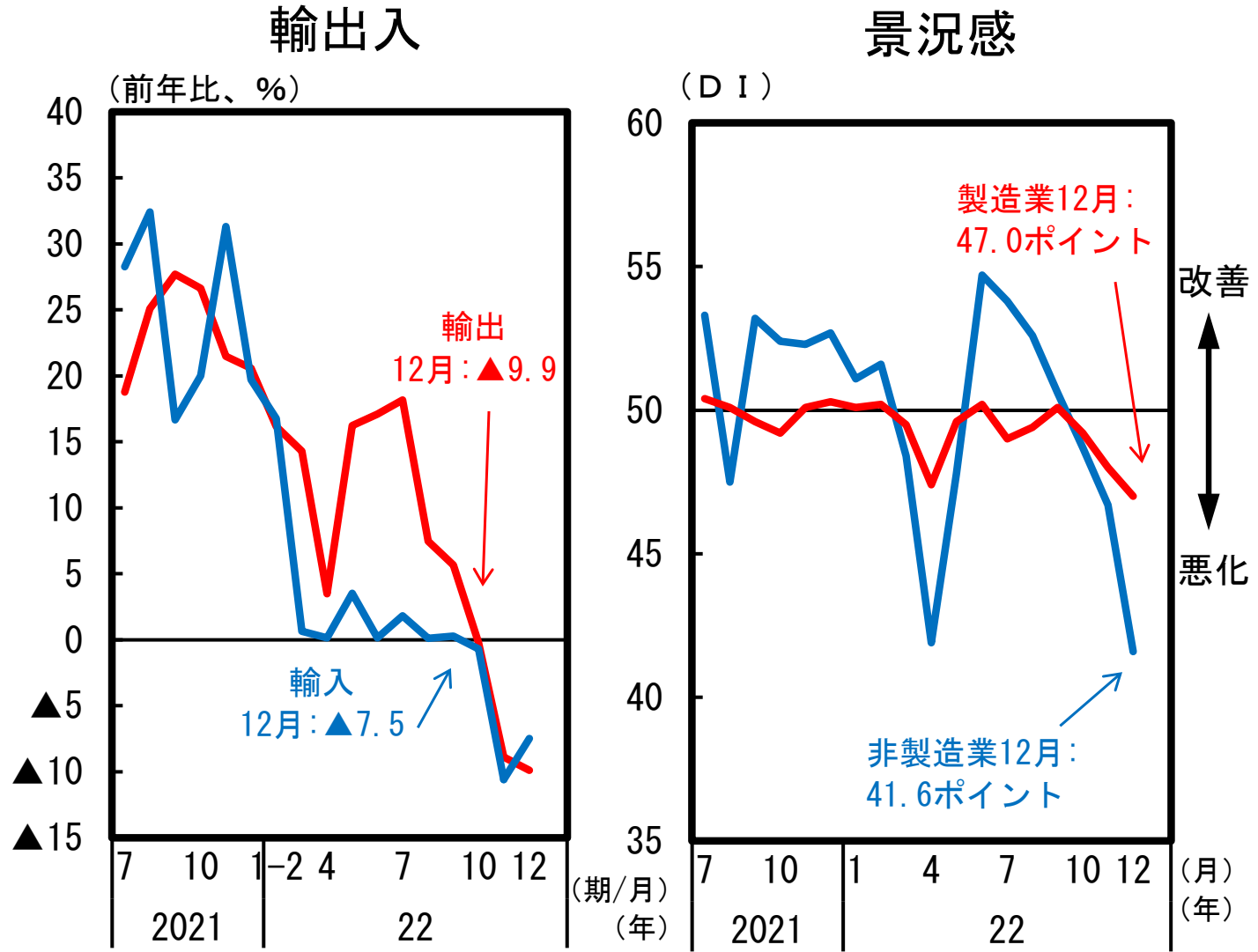
- GDP成長率は、4-6月期に減速した後、持ち直しの動きがみられていたが、10-12月期は感染再拡大の影響で低下。
- 2022年通年の成長率は+3.0%と、コロナ禍以前に比べ低い成長率。23年は感染収束と経済活動正常化のペースがカギ。

実質GDP成長率



中国経済：月次指標①

- 輸出はこのところ減少：世界的な半導体需要の減速や、感染再拡大の影響。
- 企業の景況感はこのところ低下：感染拡大の中で、サービス業を含む非製造業の悪化が顕著。

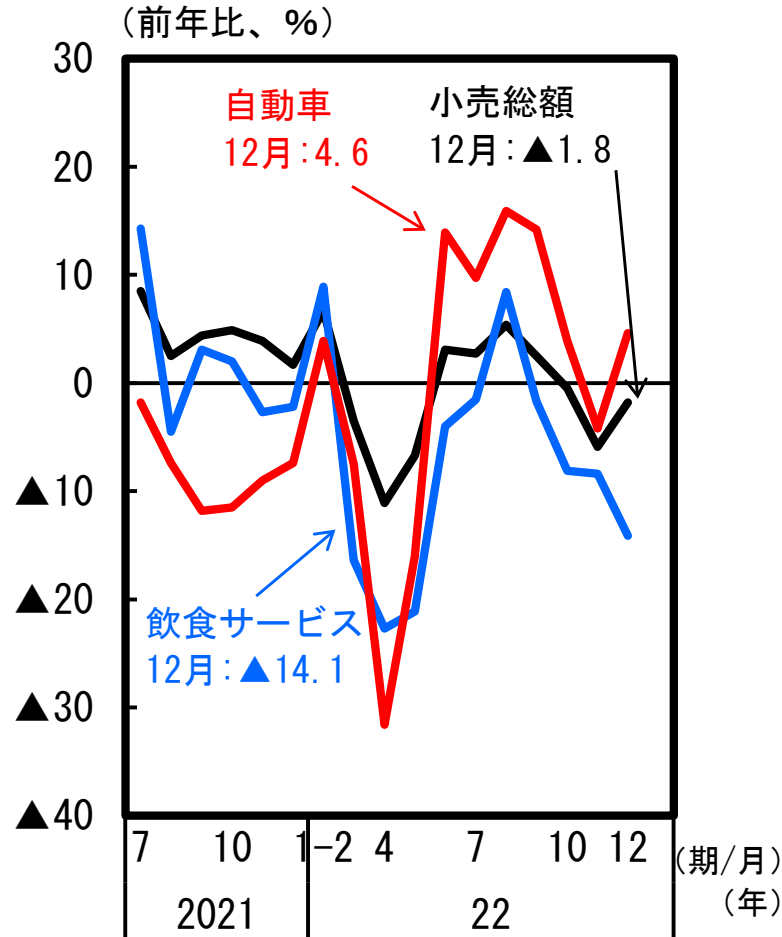


(備考) 輸出は中国海関総署、景況感是中国国家統計局より作成。

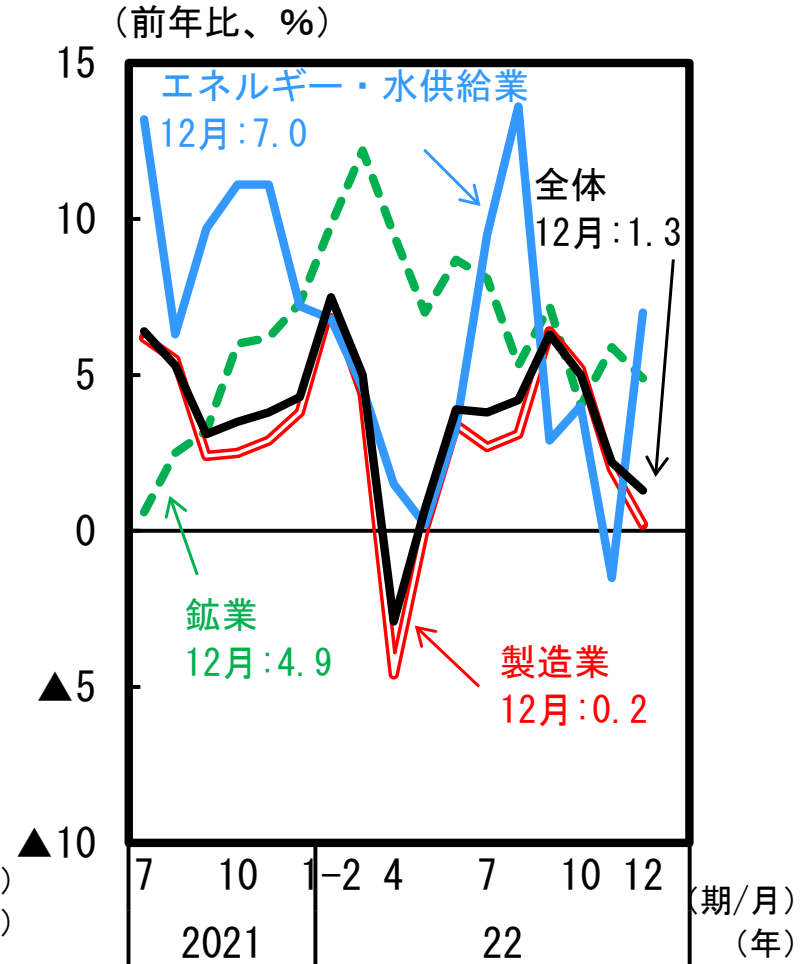
中国経済：月次指標②

- 消費はこのところ弱含み： 感染拡大の中で、飲食サービスが減少。
- 鉱工業生産は持ち直しに足踏み： プラス維持は、ロックダウンや工場の一律の休業措置等が採られなかったことが寄与。

消費



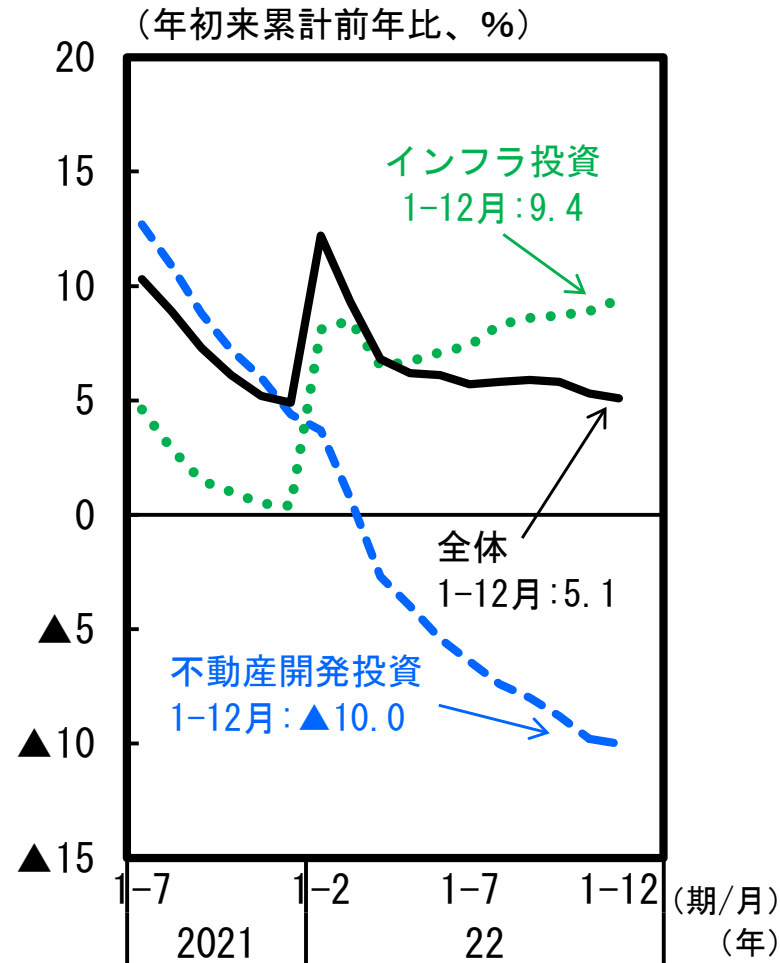
鉱工業生産



中国経済：月次指標③

- 固定資産投資は弱含み： インフラ投資は伸び率上昇。不動産市況の低迷が続く中、不動産開発投資は大幅なマイナス。
- 失業率はおおむね横ばい： 直近の低下は、感染者数が増加する中で、求職者が一時的に減少したことも影響。

固定資産投資



失業率

